

和水町の家計簿

平成29年度決算

平成29年度一般会計及び特別会計・企業会計の決算が、平成30年9月定例議会で承認されました。
町民の皆さんが納めた税金や国・県から交付されたお金がどのように使われ町の財政が運営されているのかお知らせします。

【歳入の状況】

一般会計の歳入は80億2,227万円です。平成28年度に比べて4億8,692万円(6.5%)増えています。主な要因は、国庫・県支出金、町債が増えたことによるものです。
自主財源である町税の収入状況は、町民税(法人分)、固定資産税、軽自動車税の増により平成28年度に比べて2,440万円(2.8%)増えています。
歳入の40.6%を占める地方交付税は、合併後10年を経過して以降、算定方法の見直しにより平成28年度と比較して、2億6,642万円減っており、今後も当面は減少が見込まれます。

【歳出の状況】

一般会計の歳出は70億4,209万円です。平成28年度に比べて4億9,158万円(7.5%)増えています。
主な要因は、投資的経費の普通建設事業費、災害復旧事業費の増によるもので、平成28年度に比べ6億292万円(75%)増えています。

【決算状況】

歳入から歳出を差し引いた差引額は、9億8,018万円となりました。このうち3,312万円は平成30年度に繰り越した事業の財源となります。

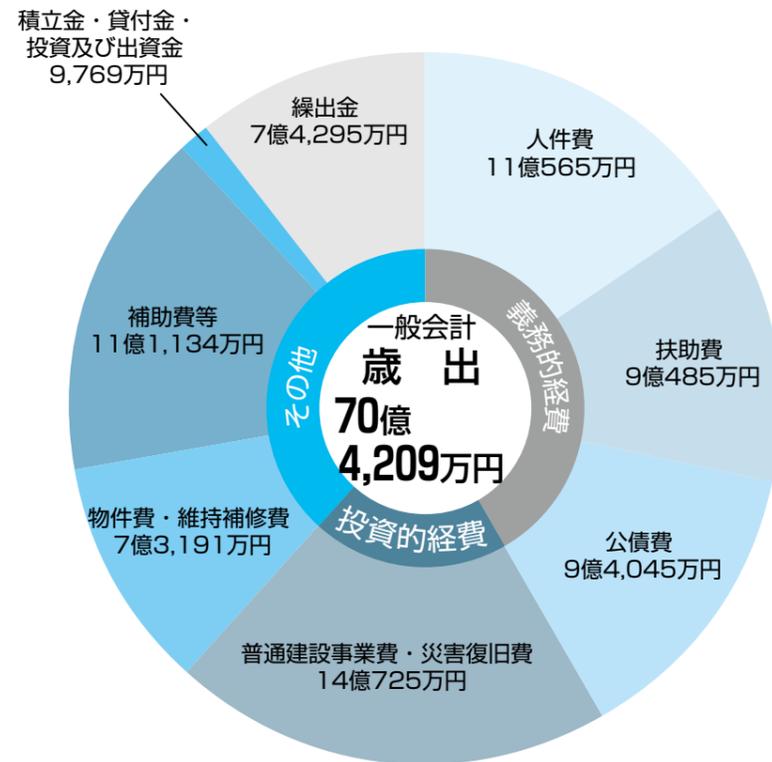
【町民一人当たり換算】

○町民一人に使われたお金 **690,740円**
※算出根拠：歳出総額70億4,209万円÷10,195人=690,739.57...≒690,740円

○町民一人が支払った町税 **87,413円**
※算出根拠：町税8億9,118万円÷10,195人=87,413.43...≒87,413円
(人口は平成30年3月末日の人口(10,195人)で算出)

目的別	H29決算額	町民一人当たり換算
議会費	9,134万円	8,960円
総務費	9億6,161万円	94,321円
民生費	19億2,229万円	188,553円
衛生費	5億7,937万円	56,828円
農林水産業費	3億5,685万円	35,003円
商工費	1億3,867万円	13,602円
土木費	7億6,377万円	74,916円
消防費	2億4,183万円	23,721円
教育費	7億9,729万円	78,204円
災害復旧費	2億4,861万円	24,385円
公債費	9億4,045万円	92,246円
合計	70億4,209万円	690,740円

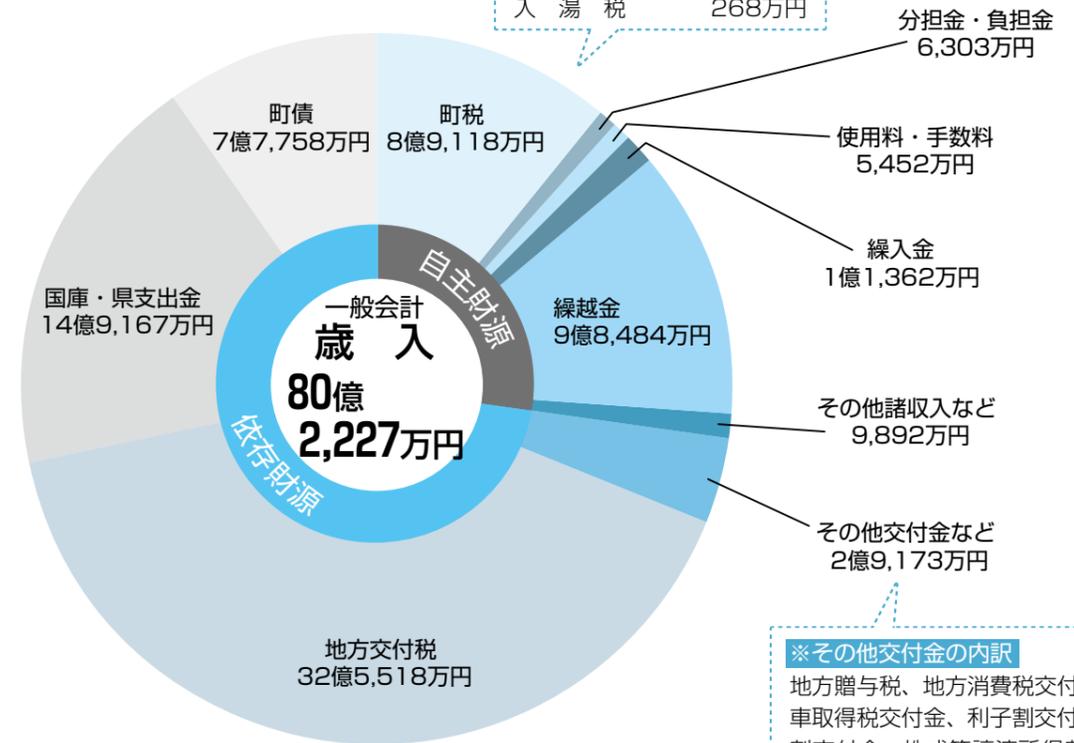
※人口は、平成30年3月末日の人口(10,195人)で算出



※性質別

※町税の内訳

町民税	3億3,350万円
固定資産税	4億5,331万円
軽自動車税	4,676万円
町たばこ税	5,493万円
入湯税	268万円



※その他交付金の内訳

地方贈与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

【用語解説】

(歳入)

■分担金・負担金

特定の事業費の一部を利用者や受益者が負担するお金

■使用料・手数料

公共施設使用料や各種証明手数料など

■繰入金

他会計や基金などから移動(繰入)したお金

■その他諸収入など

財産収入、寄附金、諸収入など

■地方交付税

全ての市町村が一定水準の行政サービスを行うことができるよう国から交付されるお金

■国庫・県支出金

特定の事業を行うために国・県から交付されるお金

■町債

特定の事業を行うために借り入れるお金

(歳出)

■扶助費

生活保護・児童福祉老人福祉など生活を維持するために支出される費用

■維持補修費

道路、橋梁、公共施設などの修繕費

■公債費

町の借金返済に係る費用

■普通建設事業費

道路、橋梁、河川や公共施設の建設にかかる費用

■物件費

業務委託料、消耗品、通信運搬費など

■補助金等

各種団体への補助金、負担金など

■繰入金

特別会計などに支出される経費

■議会費

議会運営のために使用する費用

■総務費

行政運営やまちづくりのために使用する費用

■民生費

福祉・医療のために使用する費用

■衛生費

ごみ処理や病気予防のために使用する費用

■農林水産費

農林業の振興のために使用する費用

■商工費

商工業・観光振興のために使用する費用

■土木費

道路や橋などのインフラ整備のために使用する費用

■消防費

消防や災害予防のために使用する費用

■教育費

学校や生涯学習のために使用する費用

■災害復旧費

災害時の復旧のために使用する費用